

2020
4/1 ▶ 5/24

EVENT 掲示板

明石のイベント情報をお知らせ！

明石公園さくらまつり

4/1(水)▶4/5(日)

場所：明石公園

イベントは
4/4(土)・5(日)に
開催

イベント内容

- 両櫓の公開
- 武蔵の庭園での野点
- 手作り甲冑の試着

■お問い合わせ先■
078-912-7600
(兵庫県立明石公園)



画像提供：(一社)明石観光協会

スローライフフェスタ2020

4/3(金)▶4/5(日)

場所：明石公園

■お問い合わせ先■ 078-597-6930(アルテフェスタ実行委員会)

第8回盲導犬育成チャリティーコンサート (時間：10:55～16:00)

5/10(日)

場所：あかし市民広場

■お問い合わせ先■ 078-911-3100 (ポチ企画内)
(盲導犬育成チャリティーコンサート実行委員会)

第29回明石原人まつり

5/23(土)、5/24(日)

場所：八木遺跡公園

■お問い合わせ先■ 080-4024-5042 (明石原人まつり実行委員会)

使用マークの説明

一般エレベーター

スロープ

車いす対応トイレ
多目的トイレ
車いす・オストメイト対応、
折りたたみシート
またはベビーシート設置

オストメイト

車いす対応エレベーター

AED

おむつ交換台

車いす対応駐車場

障がい者割引有

発行

■明石ユニバーサルツーリズムセンター (NPO法人 ウィズアス)
■〒673-0892 明石市本町1丁目6-3 ■TEL：078-913-5315

◆発行所：明石ユニバーサルツーリズムセンター (NPO法人 ウィズアス) 〒673-0892 明石市本町1丁目6-3 TEL：078-913-5315



特別号 あかし版

SPECIAL
ISSUE



あかしユニバーサルツーリズムセンターは、明石の歴史や文化を大切に、まちの様々なユニバーサルな情報を発信することで、暮らしやすい、人にやさしいインクルーシブな社会を、みんなで一緒に創り出していくために【特別号 あかし版】を作成しました。今後発行する『あかしびと』は、この紙面の内容をさらに充実させていきたいと思っています。ご期待ください!!

CONTENTS

- 2 あかしあれこれ 案内
- 4 明石全体マップ
- 6 明石公園UDマップ
- 7 明石のおすすめ観光
- 8 魚の棚 案内図
- 9 明石の歴史にふれる
- 10 明石 酒蔵探検
- 11 明石 食の探検

画像提供：(一社)明石観光協会

観光案内

あかし あれこれ

観光、食、文化、
明石の魅力をあれこれご紹介!

1



明石城

別名「喜春城」とも呼ばれる明石城は、1619(元和5)年に小笠原忠政(後の忠真)により築城された、約400年の歴史を持つ日本100名城の一つです。現存する二基の三重櫓(坤櫓・巽櫓)は国の重要文化財に指定されています。

魚の棚商店街

地元では「うおんたな」の愛称で親しまれ、約400年前に明石城築城とともに宮本武蔵の町割りによって作られたと伝わる商店街です。明石鯛や明石だこなど屋網であがった新鮮な魚介類や練り製品、明石ならではの土産などが並ぶ活気ある商店が、約100店舗軒を連ねています。年末にはアーケードに大漁旗が掲げられ、明石の冬の風物詩となっています。



4



江井島海岸

山陽電車江井ヶ島駅近くにある海岸です。ヤシの木が立ち並ぶトロピカルムード満点の海岸は、サラサラとした白い砂浜で、明石海峡や淡路島を一望することができます。近くには休憩所などもあります。

5



大蔵海岸公園

明石海峡大橋の全景と淡路島が望める開放的な大型公園です。バーベキュー施設をはじめ、フットサルやグランドゴルフ等が楽しめる人工芝のグラウンドなども整備され、散策だけではなく色々な用途で楽しめます。夏には大蔵海岸海水浴場も開設され、多くの海水浴客で賑わう人気のスポットです。

3

明石海峡大橋

明石海峡に架かる全長3,911mの世界最長の吊り橋。主塔の長さは海面から約300mと見る者を圧倒する。ライトアップされた夜景も必見! 明石側から眺めれば、海と空と明石海峡大橋の全景が入った大パノラマが目の前に広がります。

明石焼(玉子焼)

たこ焼きのルーツともいわれている明石を代表する名物。ふわふわの生地の中に歯ごたえのあるタコが入った明石焼は、お出汁でいただくのが基本。市内には約70店舗の専門店があり、地元では玉子焼の名で親しまれています。



画像提供: (一社) 明石観光協会

歴史

明石

1919

(大正8年)

明石市が誕生

同年の11月1日、全国で81番目、兵庫県内では4番目の市として、明石市が誕生。当時の市域は明石川より東側、人口は3万2000人余り、市制を祝い11月25日から5日間にわたり祝賀行事が行われました。8年の歳月を経て、念願が叶い1919年に明石市となりました。市制の際には、いくつかのまちが合併して市になるケースがほとんどですが、明石市の場合は単独の町が市になるという稀なケースでした。



写真提供: 明石市

歴史

明石

1942

(昭和17年)

明石市が明石郡林崎村と合併

同年の2月11日、明石市は林崎村(明石川西側～西明石)と合併し、人口は6万8千人を超えました。大正の終わりごろから、隣接する町村と合併し、市制の発展を目指す動きがありました。その後、日本が戦争ムードになりつつあった1940年ごろから、川崎航空機明石工場が林崎村に開設されるなど、工業地として急速に発展したことで、双方にとって合併の後押しとなり、人口は6万8千人を超えました。



写真提供: 明石市



AKASHI MAP

明石 全体マップ

NOTE

明石市は、兵庫県の南部に位置し、東西の距離は15.6キロメートル、南北は9.4キロメートルと東西に細長い形で、面積は49.42平方キロメートルあり、南側は海の幸豊かな瀬戸内海に接する海岸です。市の東部には、日本の時間を定める基準となる、東経135度日本標準時子午線が通っています。

歴史 明石

1951 (昭和26年)

明石市が明石郡大久保町・魚住村、加古郡二見町と合併

同年1月10日、明石市は明石郡大久保町・魚住村、加古郡二見町と合併し、ほぼ現在の市域となり、人口は11万人を超えました。神戸市から明石市、大久保町、魚住村、二見町を含む周辺市町村に対し、合併の申し入れがありました。戦災復興が先決という判断から見合わせました。大久保町、魚住村、二見町については明石市と切り離すと地形上不自然であり、孤立状態になる恐れもあることから除外されました。



写真提供: 明石市

歴史 明石

1955 (昭和30年)

神戸市との合併について住民投票を実施

戦後間もないころに神戸市からの合併を拒否し、3町村と合併しましたが、1954年(昭和29年)5月、再度神戸市から明石市に対して、合併の申し入れがありました。神戸市は、明石市の観光資源や工業・住宅用地に注目していたようです。1955年(昭和30年)1月23日、神戸市との合併の是非を問う住民投票が行われ、賛成が10,727票、反対が33,498票と反対が大きく上回り、合併は回避されました。



写真提供: 明石市

明石公園 明石駅周辺

資料提供：公益財団法人兵庫県園芸・公園協会 明石公園

凡例

公共トイレ	駐車場
おむつ交換台	AED
障害者用トイレ	一般エレベーター
オストメイト	障害者用エレベーター
公衆電話	授乳室

注意表示 急な坂道



明石城ゆかりの人物 小笠原忠真と明石城

下総国古河城に生まれる。母は徳川家康の孫。慶長20年(1615年)の大坂夏の陣では自らも傷を負いながらも奮戦。その功績が認められ、松本8万石を継承することになる。後に播磨三木明石10万石を経て、豊前小倉15万石に移封された。前小倉藩主39万石の細川忠利は義兄弟である。大名茶人でもあり、同地の茶湯隆盛の基盤を築いた。上野焼の育成に尽力した外、茶人の古市了和を召し抱えて小笠原家茶道古流を興した。

歴史 明石

1960
(昭和35年)

天文科学館が開館

国際地球観測年(64か国が共同して地球物理学現象の観測を組織的に強化した期間)を記念し、日本標準時子午線上に市立天文科学館を建設する計画が構想され、1960年(昭和35年)の時の記念日の6月10日、天文科学館が開館しました。館内には、東ドイツのカール・ツァイス・イエナ社製のプラネタリウムによる解説付きの星空の投影をはじめ、時計や暦、天体観測、宇宙開発等に関する資料が展示されてきました。

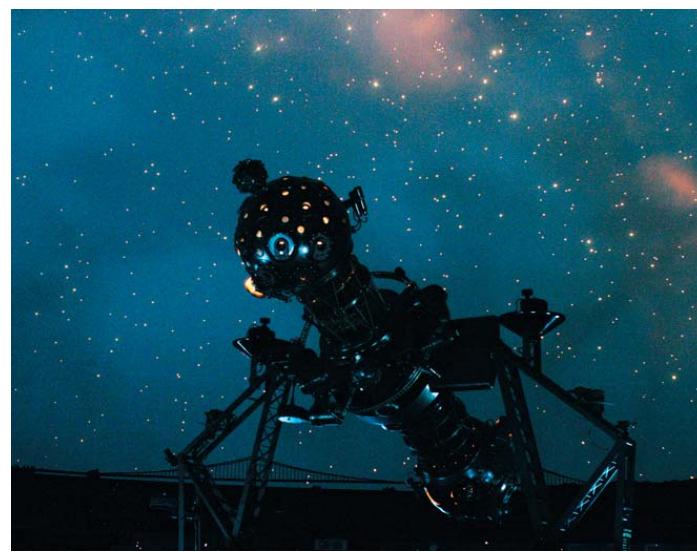


写真提供:明石市

明石市立天文科学館

地図 5P

車いす貸し出し
ベビーカー貸し出し



▲聴覚に障がいのある方も楽しんでもらえるよう、プラネタリウムドームでは磁気ループシステムを完備し、補聴器の貸し出しも行っています

『時と宇宙の博物館』で 星座や宇宙について楽しく学ぼう

1960年6月10日、日本標準時の基準となる東経135度子午線が通る場所に開館。生解説が人気のプラネタリウムの投影は、その日の夜に見える星空や期間ごとのテーマにそったお話、キッズプラネタリウムなど、さまざまなプログラムが楽しめます。展示室では子午線のまち・明石や天文ギャラリー、暦と時をテーマに実際に触って体験できるコーナーや、定期的に展示が入れ替わる特別展示、小さな子どもが楽しめるキッズルームなど、遊びながら学べるスペースがいっぱい。また展示室からは、目の前に広がる明石の街並み、明石海峡大橋・淡路島など360度一望できる景色を大パノラマで堪能してみてください!

◆明石市人丸町2-6◆TEL:078-919-5000/FAX:078-919-6000◆開館時間:9:30~17:00(入館は16:30まで)◆休館日:月曜日・第2火曜日(祝日の場合は翌日)◆アクセス:JR・山陽電車「明石」駅(共にEVあり)より徒歩約15分 または山陽電車「人丸前」駅(EVなし)より徒歩約3分◆HP:<http://www.am12.jp/>

明石市立文化博物館

地図 5P

車いす貸し出し
ベビーカー貸し出し



▲生活や文化の移り変わり、時代背景を展示で紹介

明石の歴史と文化を紹介

私たちの先人が営々として築いてきた明石の歴史と文化を「人々の暮らしと自然環境」と題して八つのテーマで紹介。アカシゾウ(アケボノゾウ)がいた時代の状況、「明石人骨」の謎や弥生時代の村、交通の要衝としての港の整備、戦後のまちの様子など、明石のまちのこれまでの発展についてわかりやすく展示されています。特に農機具や漁具、明石城の歴史に関する資料などが充実。また、各テーマに通じた要点をまとめた「展示解説シート」が設置されているので、繰り返し勉強するのもピッタリです。また、特別展や企画展などの展覧会を開催。ボランティアによる十二単、鎧の着付け体験などのワークショップも行っています。

◆明石市上ノ丸2-13-1◆TEL:078-918-5400/FAX:078-918-5409◆開館時間:9:30~18:30(入館は18:00まで)◆休館日:毎週月曜日(国民の祝日又は休日及び特別展開催期間中を除く)、年末年始(12月29日~1月3日)◆アクセス:JR・山陽電車「明石」駅(共にEVあり)より北へ徒歩5分 徒歩でお越しの際は、アクセスエレベーター「櫓(やぐら)の道」をご利用ください◆HP:<http://www.akashibunpaku.com/>

歴史 明石

1968
(昭和43年)
1981
(昭和56年)

バレホ市と姉妹都市、無錫市と友好都市に

1968年12月9日、明石市はバレホ市と姉妹都市提携を結びました。バレホ市は、アメリカ合衆国・カリフォルニア州の西海岸に位置した、人口約12万人、面積約96平方キロメートルの都市です。1981年8月29日、明石市は無錫市と友好都市提携を結びました。無錫市は、中華人民共和国の上海市と南京市のほぼ中間に位置した、常住人口約643万人(戸籍人口約468万人)、面積約4788平方キロメートルの都市です。



写真提供:明石市



明石城築城400年とともに
魚の棚は設立400周年を迎えました

明石の歴史にふれる

明石川の東、大観町や岬町をはじめとして、市内には古くからのお寺や神社が多くあります。そのなかからいくつかご紹介しましょう！

地図 5P

善楽寺(戒光院、円珠院)



善楽寺は、隣りあっている戒光院・円珠院の総称で、大化年間(645年～650年)に法道仙人によって創建され平安末期、平清盛が再興したと伝わる明石で最も古いお寺とされます。戒光院には平清盛を供奉したという「平清盛五輪塔」や、源氏物語に由来する「明石入道の碑」、「浜の松の碑」があり、円珠院には宮本武蔵が作庭したといわれている枯山水の一部があります。戒光院に入るには正面に階段がありますが、西側から段差なく境内に入ることができます。

◆明石市大観町11-8 ◆TEL:078-917-5070 ◆アクセス:山陽電車「西新町」駅(EVあり)より南へ徒歩約8分 またはJR・山陽電車「明石」駅(共にEVあり)より神姫バス乗車「日富美町」下車徒歩約2分

地図 5P

中崎公会堂



明治44年(1911年)に建築された建物で、明石で最も古い公共施設。公会堂のこけら落としには夏目漱石が講演した歴史があります。奈良・鎌倉時代の建築様式を取り入れ木造トラス構造を採用しており、2012年に国の登録有形文化財に指定され建築技術史的にも貴重な建造物です。趣きのある空間は、現在貸室として使われており、特徴を活かした催し物や講演会など、様々な利用されています。

◆明石市相生町1丁目9番16号 ◆TEL:問い合わせ(市民会館)078-912-1234
◆営業時間9:00～21:00 ◆定休日:毎週月曜日(ただし、祝日と重なる場合は開館)、年末年始(12月29日～1月3日) ◆アクセス:山陽電車「人丸前」駅(EVなし)下車 南へ徒歩約5分 またはJR・山陽電車「明石」駅(共にEVあり)より徒歩約15分 ◆<https://akashi.hall-info.jp/?menuID=4>

地図 5P

柿本神社(人丸神社)



柿本神社は、柿本人麿を祀り、地元では“人丸さん”と呼ばれ親しまれています。人麿は7世紀後半、持統・文武天皇のころの飛鳥時代に宮廷に仕えた歌人で、学問の神様として知られています。明石を詠んだ歌もあり、ゆかりのある地でもあります。人麿の命日である旧暦3月18日には、4基のお神輿が出るなど、多くの人で賑わいます(現在4月の第2日曜)。現在の場所へは1620年、明石城築城により移され、今年でご鎮座400年を迎えます。

◆明石市人丸町1-26 ◆TEL:078-911-3930 ◆アクセス:山陽電車「人丸前」駅(EVなし)より北に徒歩約10分 車いすルート▶JR「明石」駅(EVあり)より東へ約15分(山陽電車「人丸前」駅) 神社まで途中急な坂有り(要介助)
◆授与所:9:00～16:30 ◆HP:<http://www.kakinomoto-jinja.or.jp>

歴史 明石

1980
(昭和55年)

明姫幹線が全線で開通

1976年(昭和51年)の西明石駅北側～藤江、1977年(昭和52年)の藤江～大久保町江井島の4車線での部分開通を経て、1980年(昭和55年)9月12日、大久保町江井島～二見町西二見が2車線で暫定的な供用開始し全線で開通。当初工事は、大阪万博の開催など周辺情勢により工期が大幅に遅れ、着工から13年かかりました。その後、2車線部分の4車線化を要望する声があがり、1989年(平成元年)10月20日、全線4車線化が完了。



写真提供:明石市

歴史 明石

1995
(平成7年)

兵庫県南部地震が発生

1995年(平成7年)1月17日、淡路島北部を震源とするマグニチュード7.2を記録した兵庫県南部地震が発生しました。明石市でも、人的被害としては死者26人、負傷者1,884人、建物被害としては全壊2,941棟、半壊6,673棟、一部損壊21,370棟にのぼりました。その他、明石城の石垣が崩れたほか、天文科学館でも大きな被害を受け3年2か月にわたり長期の休館を余儀なくされるなど、明石市にも大きな爪痕を残しました。



写真提供:明石市



地図 4P



江井ヶ嶋酒造

100年余の伝統を誇る明石の酒造り

明治21年(1888年)創業。冬は日本酒、夏はウィスキーを製造している総合酒類メーカー。同じ敷地内に創業当時のまま残っている7つの木造蔵では、臨場感あふれる酒造りの現場を見学することができます。隣設している資料館には、戦争の影響を受けずに現存する昔ながらの酒造りの道具や関連書物が展示されています。すっきりとした味わいの代表銘酒『神鷹』をはじめ、約十数種類の日本酒・ウィスキーの試飲が楽しめます※一部有料※見学希望の場合は事前連絡必須

敷地内資料館入口に

アクセス:山陽電車「西江ヶ島」駅(EVなし)より徒歩約8分またはJR「魚住」駅(EVあり)よりコミュニティバス(全車両ノンステップバス)乗車「山陽西江ヶ島」駅下車 徒歩約8分

◆明石市大久保町西島919◆TEL:078-946-1001◆営業時間:9:00~17:00 ※酒の販売は16:00まで◆定休日:土日祝・盛夏・年末年始◆HP:<http://www.ei-sake.jp/>

地図 4P



茨木酒造

飲み続けてもらえるお酒造りを

昔ながらの手法で伝統を守りつつ、常に新しい味を模索し、お客様に長く愉んでもらえるお酒造りを心掛けているという茨木酒造。代表銘柄の『来楽』は定番から花酵母を使用したシリーズまで幅広く味わえます。またこだわりの甘酒は、米と米麹の自然な甘さでノンアルコール、「飲む点滴」とも言われるほど栄養満点の人気商品です。蔵見学以外にも、販売や様々なイベントが開催され、気軽に立ち寄れるのが魅力のひとつ。

敷地内資料館入口に

アクセス:山陽電車「魚住」駅(EVなし)またはJR「魚住」駅(EVあり)南口よりコミュニティバス(全車両ノンステップバス)乗車「山陽魚住」駅下車徒歩7分

◆明石市魚住町西岡1377◆TEL:078-946-0061◆営業時間:9:00~18:00◆定休日:不定休◆HP:<https://rairaku.jp/>

地図 4P



ながさわ明石江井島酒館 明石ブルワリー

明石の酒造『西灘』の地に恥じめ地ビールをぜひ!

300年以上続く酒蔵の町の歴史を受け継ぎ、日本酒の酒蔵をリノベーションした地ビール工房。国際ビール大会で3年連続受賞した「明石海岸ビール」「明石浪漫ビール」「明石黒ビール 悠久の刻」の3銘柄をはじめ、3人のブルワーが考案した麦芽100%の本格手造りビールが楽しめます。また併設されている『和食レストラン 江井ヶ島』では、明石の新鮮な魚介類を使用した御膳や丼、定食などのメニューが味わえます。

敷地内資料館入口に

アクセス:山陽電車「江井ヶ島」駅(EVあり)より徒歩約15分またはJR「大久保」駅(EVあり)南口よりコミュニティバス(全車両ノンステップバス)乗車「ながさわ江井島酒館」下車すぐ

◆明石市大久保町西島1194◆TEL:078-948-2388/FAX:078-948-2050◆営業時間:10:00~17:00◆定休日:不定期◆HP:<http://www.akashi-beer.com/>

地図 5P・8P

藤江屋分大 (本店・ピオレ明石店・そごう西神店) 筆談対応可



文政元年(1818年)に創業した老舗。「丁稚でも買える安価にて作ることは出来ないか」という思いから生まれた丁稚羊羹。素朴な味のおもてなしが多くの人々の笑顔につながり、心を癒します。

◆(本店)明石市本町1-12-17◆TEL:078-911-3635◆営業時間:9:00~17:30◆定休日:火曜日◆HP:<https://www.bundai.co.jp/>

地図 5P・8P

林喜商店

筆談ボード・点字メニュー



創業明治五年。昔も今も、あなご一筋。ひと串ひと串丁寧に焼きあげ、秘伝のタレと炭火で香ばしい風味とともに、ふっくらとした焼き上がり。明石の恵みのひとつとしておみやげに…。

◆明石市本町1-4-20◆TEL:078-911-3378◆営業時間:10:30~17:00◆定休日:木曜日◆HP:<https://hayaki-anago.com/>

地図 5P・8P

あかし多幸

筆談ボード・点字メニュー



厳選された薄力粉やじん粉と、天然利尻昆布からとった出汁をふんだんに使い、歯ごたえと味をしっかりと楽しめる明石産のたこをオリーブオイルであっさり焼き上げた明石焼きは絶品!

※売り切れ次第終了させていただきます。

◆明石市本町1丁目5-17◆TEL/FAX:078-911-2241◆営業時間:月・火・水▶11:00~18:00/木▶11:00~16:00/金・土・日▶11:00~20:00◆定休日:無休(不定休あり)◆HP:<http://www.akashiyaki.ne.jp/>

地図 5P・8P

くるみや本店

筆談ボード・点字メニュー



創業当時から厳選した素材を使用し、シュークリームやフロリダ、グリーンティーロールは不動の人気定番商品。また地産地消にこだわり、旬の果物を使った季節限定商品もおすすめ。

◆明石市本町1-19-3◆TEL:078-911-2468◆営業時間:10:00~19:00◆定休日:元日のみ◆HP:<https://kurumiya.jp>

地図 5P・8P

手焼き富士せんべい富士の山菓舗

筆談ボード



6代目店主が一枚一枚手焼きで作っているせんべいは、創業当時から変わらない伝統の味。あられやおかきなど、素材と製法にこだわり抜いた昔懐かしいお菓子がたくさん揃っています。

◆明石市本町1-13-20◆TEL:078-911-2479◆営業時間:9:00~19:00◆定休日:火曜日◆HP:<http://www.pure.ne.jp/~senbei/>

地図 5P

鍵庄 (貴崎店・大久保店・加古川店) 筆談対応可



日本有数の名産地、明石海峡で育ったのり。中でも厳選された上質なのりとお客様がご来店、おいしい食べ方や商品のことなど、のりを通した心弾む会話が生まれるお店です。

◆(本社)明石市貴崎3-21-28◆TEL:078-945-5353◆営業時間:9:00~17:30◆定休日:年末年始・臨時休業◆HP:<http://www.kagisho.co.jp/>

歴史

明石

2006

(平成18年)

のじぎく兵庫国体を開催

兵庫県で1956年(昭和31年)以来50年ぶりとなる、第61回のじぎく兵庫国体が開催。兵庫県南部地震から新しく生まれ変わった兵庫の姿を全国に披露するとともに、全国から寄せられた温かい支援に対する感謝の意を表す機会として、新たな出会いと交流の場となることを願い開催。現在も兵庫県のキャラクターとして親しまれている「はばタン」は、兵庫国体のマスコットキャラクターとして誕生したものです。



写真提供:明石市

歴史

明石

2017

(平成29年)

明石駅前再開発ビルに「あかし市民図書館」「あかしこども広場」「あかし総合窓口」がオープン

従来明石公園内にあった市立図書館は、あかし市民図書館として本数が2倍、座席数が3倍、広さが4倍に。あかしこども広場は、妊婦・乳幼児健診などを行う「こども健康センター」や、こども図書室を併設した「あかし子育て支援センター」、屋内大型遊具がそろう「ハレハレ」、中高生世代の活動をサポートする「AKASHIユーススペース」など、幅広い年齢の子育てをサポート。あかし総合窓口は、これまで市役所で行っていた業務を明石駅前のワンフロアで受けられるようになりました。



写真提供:明石市